

 開校明治七年 開校149年目	大和田小だより 学校教育目標 かしこく やさしく がんばる子 大和田小は新座の始めの学校。来年度開校150周年です。	めざす学校像 子供の自己有用感を向上させ、主体的・協働的な学びを大切にする学校 ～すべての子を大和田小の光に～ 1月号 令和6年1月9日 新座市立大和田小学校 児童数 779名・学級数 27 学級	1月の生活目標 あたたかい 言葉をつかおう ・相手がうれしくなる言葉 ・自分も言われた言葉 ・みんなが笑顔になる言葉
---	--	---	--

睦月 令和六年 甲辰（きのえ たつ）
新年明けましておめでとうございます

校長 近藤章宏

関東地方では穏やかな天候に恵まれ、新しい年を迎えることができました。保護者、地域の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。



大和田小屋上より

一方で石川県を中心に震度7を記録する大きな震災が発生しました。被災された方々にはお見舞いを申し上げますとともに、日頃から危機意識をもって教育活動を進めていく必要性を強く感じるところです。新年にあたりあらためて教職員一同、子供達一人一人の健やかな成長のため、教育活動に取り組む所存です。

夢の実現に向けてできること

物事は最初が肝心という意味で、昔から「一年の計は元旦にあり」と言われています。年の初めに今年一年の目標や、数年先・将来にわたる夢をもち、計画を立てることはとても大切なことです。

昨年11月に県教委の事業の「夢と豊かな心をはぐくむ講演会」として、元西武ライオンズの投手、石井丈裕氏をお招きして、5年生の児童を対象に講話をしていただく機会がありました。

プロ野球界で一定の成果を収めた方の講話の内容は極めて裏付けに基づかれたものでした。まず石井氏は「夢を見つけれられる人は、夢を見つ



けようとする人」だとしていました。また夢をかなえるためには「やりたくなくても、やらなければならず、やりぬくため

には、好きと思う気持ちが助けてくれる」と話されていました。そして夢を達成するための方策として「計画を立てる」ことの重要性を実感されていました。石井氏は自分で立てた計画にもとづき、走り込み、基礎的な動き方を身に付けて、フォームを整え、筋肉をつけるという具体的な取り組みの成果としてコントロールが向上し、投手として成果を残せたと結論付けられていました。

また報道等でご存じの方もいらっしゃると思いますが、メジャーリーグで活躍中の大谷選手より全国の小学校にグローブの寄贈がありました。



同封されていたメッセージには次世代を担う子供たちに夢を与え、勇気づけたいという思いがつつられていました。石井氏も大谷選手も子供の頃から自分の夢の実現に向けて努力されてきた方々です。

石井氏のお話や大谷選手からのメッセージから、埼玉県深谷市出身で、明治時代の実業家である渋沢栄一の言葉を思い起こしました。渋沢氏の座右の銘に「夢七訓」という言葉があります。

夢なき者に理想なし 理想なき者は信念なし
信念なき者は計画なし 計画なき者に実行なし
実行なき者は成果なし 成果なき者は幸福なし
故に幸福を求むる者は、夢なかるべからず

夢→理想→信念→計画→実行→成果→幸福と段階を経て、未来を切り拓いていくべきであるという考えを表しており、夢や理想は自分の将来を幸福へと導く大切な礎となるものです。子供たちは学習やスポーツ、習い事など学校や家庭・地域で様々なことに取り組んでいますが、自分や家族の幸福に結びつき、社会をよりよく生きるためということを意識して欲しいと願っています。

3 学期 スタート

いよいよ本日より3学期が始まり、各学年のまとめの時期となります。どの学年の子供達に対しても、次の学年へと繋がる大切な時間であることを伝え、当該学年として当たり前のことを当たり前に行えるよう支援してまいります。とくに6年生は、あと3ヶ月で卒業、そして進学という大きな節目を迎えます。一日一日を大切にして、6年間の小学校教育課程を修了させ、立派な中学生として送り出せるよう取り組んでまいります。